

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	49-2217
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木 博
事務事業名	公共下水道維持管理事業				
予算上の事務事業名	公共下水道維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施策名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法第3条(管理)					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
下水道施設の点検、調査を行い、異常を速やかに発見し維持管理する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。			公共下水道整備済区域		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
施設等管理運営委託費等 排水管きよ等清掃・浚渫委託 管きよ (200~700) L=5,696m 産業廃棄物処理処分委託 処理処分した汚泥量 159 t 浚渫管きよ目視調査委託 L=75,060m 管きよ内TV調査委託 L=836m					
6 関連・類似事業や他市の状況					
類似施設がある他市においても同様である。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	42,823	40,112	39,571	43,264	43,264
一般財源	13,381	9,405	7,807	10,124	10,124
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	29,442	30,707	31,764	33,140	33,140
人件費の合計	16,020	16,140	16,100	16,100	16,100
事業コスト合計	58,843	56,252	55,671	59,364	59,364
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	排水管きよ等清掃・浚渫委託			対象名称と単位	管きよ内清掃延長
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	58,843	56,252	55,671	59,364	59,364
対象数	7,269	7,212	5,696	5,700	5,700
単位あたり経費(円)	8,095	7,800	9,774	10,415	10,415
前年度比		0.96	1.25	1.07	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	管きよ内清掃延長（m）	指標式と指標の説明	清掃を必要とする延長		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	7,269.0	7,212.0	5,696.0		
目標	7,269.0	7,212.0	5,696.0	5,700.0	5,700.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	清掃実施率（%）	指標式と指標の説明	実施箇所／調査箇所 清掃実施状況をみる。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		定期的、計画的な維持管理を行うことにより、下水道施設（耐用年数）の延命を図ることが出来、経費の節約につながる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			経年劣化に対する維持管理費の増加が懸念される。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			